

【プロジェクト名】

悲劇からの奇跡の復興！アフリカの奇跡ルワンダで ICT 革命を追う

【研究目的】

1994 年に虐殺を経験したルワンダ共和国が近年見事な経済成長を遂げ「アフリカの奇跡」と呼ばれている。そんな中、現在ルワンダは ICT 革命に力を注いでおり、アフリカでは異例の光ファイバー国土 100%カバーを達成したり、世界初のドローン空港が運用を開始していたりする。最近ではメディアなどでも取り上げられるようになったルワンダの ICT 促進の運動だが、まだ実態は詳しく知られていない。そこで本プロジェクトの目的は現在進行中のルワンダの ICT 革命は本当にうまくいっているのか、課題は出てきていないのか、などを現地でのフィールドワークをもとに検証していくことにある。

【結果】

ルワンダ ICT 政策の中心人物や教育現場の方々、またはルワンダの開発に協力している日本人の方々へのインタビューを通して、ルワンダの ICT 革命のこれまでの成果が見えてきた。① ICT 立国になるという共通認識が全員で持っていること、②ICT ビジネスが行える環境ができつつあり投資が集まり始めていること、③ICT インフラが急速に整ってきたこと、以上の 3 つがこれまでのルワンダ ICT 革命の成果といえる。

一方で課題も見つかった。人材育成と雇用の問題である。人材育成は教える側の問題が顕著であった。急速に ICT 促進を進めてきたので人材を育てようと思っても、ICT スキルを教えられる人材が国内に少ないことが大きな障壁となっている。また雇用の問題では、ルワンダ国内には ICT ビジネスを行っている大きな企業が少ないので、若手 ICT 人材の受け皿が少ないことが成長への足かせとなり始めていた。せっかく大学で ICT スキルを習得しても、それをいかす場がないと嘆いている若者も多かった。ルワンダの ICT 革命はまだ道半ばで始まったばかりだが、急速に進めてきたゆえの課題も出始めている。こうした課題に対処しながらさらに速度を速め、ICT 立国への道へと進むことが求められる。

【活動内容】

2017 年 3 月から 1 か月間、現地 NGO のインターンとしてルワンダ国内で事前調査を行った。帰国後は文献での調査、日本国内在住でルワンダ開発政策に詳しい方へのインタビューなどを通し、現地でのフィールドワークに備えた。8 月中旬から再び 1 か月ルワンダに滞在し、現地でのヒアリング調査(ルワンダ教育庁職員やルワンダ ICT 商工会議所副会長、小学校教諭、日本国大使館スタッフ、JICA 専門家などを対象に実施)を行い、帰国後は調査の証言をまとめる作業を行った。